

広報

えびな 5/15日号

編集・発行 海老名市役所 市長室

〒243-0492 神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

代表 ☎046(231)2111 ㊚046(233)9118

㊜ http://www.city.ebina.kanagawa.jp

「広報えびな」は、海老名市シルバー人材センターの会員が各家庭へ直接配布しています。お手元に届かない場合はご連絡ください。
☎ 同センター (☎237・3001)

「あなたのフィールドへ。海老名市」

新政策・都市ブランドの創出事業を展開中！

☎ 政策事業推進課 (☎235・4574)

【海老名市と白石市・登別市との交流】



◆姉妹都市少年野球交流

年2回、海老名市と白石市の少年野球選抜チームが相互訪問して交流試合を行い、友情を深めています。



◆白石市訪問ツアー

平成22年4月、海老名市民75人が白石市を訪問。市内観光や記念植樹を行い、2泊3日の旅を満喫しました。



◆登別市にポンプ車を寄贈

平成22年4月、登別市に消防ポンプ車5台を寄贈。そのお礼として同年10月、ポニー2頭を譲り受けました。現在、2頭のポニーは市の特別職員として、ふれあいを通じ海老名を元気にするために活動しています。



登別市の紹介

人口 51,892人
(平成23年3月末現在)

北海道南西部に位置し、アイヌ語の「ヌブリベツ(色の濃い川)」を由来とする登別市。9種類のバラエティ豊かな泉質が魅力の登別温泉は、源泉温度45～90℃、1日の自然湧出量が1万トンと言われる日本有数の観光地です。年に一度、温泉の源泉元である地獄谷の釜の蓋が開き、鬼や閻魔大王が現れるという「鬼伝説」が伝えられていて、これに登場する『鬼』がまちのシンボルとなっています。



登別市 小笠原春一市長

調印を機に、3市が多くの交流をすることで改めて未来にはばたいていきたいと考えています。秋の市民ツアー、登別市をあげて歓迎します。これからもどうぞよろしくお祈りします。

白石市・登別市と トライアングル 交流宣言

さまざまな分野で 交流・絆を深める

市では、4月29日(金)宮城県白石市および北海道登別市と「トライアングル交流宣言」の調印を行いました。白石市と登別市は昭和58年に、白石市と海老名市は平成6年に、それぞれ姉妹都市提携を結び、これまでさまざまな分野で交流を深めてきました。そして、平成22年4月に「三市による災害援助協定」を締結し、平成23年3月の東日本大震災では、協定に基づき被災した白石市に対し、海老名市と登別市は共同で支援を行いました。白石市、登別市、海老名市の三市は「家族、姉妹、兄弟、友達」のような関係を築き、さまざまな分野で交流を深めるとともに、相互支援関係を強化していきます。

☎ 秘書課 (☎235・4572)。



◆トライアングル交流宣言調印

3市による調印式が行われ、調印式後に白石市はブナを、登別市はスモモを記念植樹しました。

トライアングル交流宣言調印式の模様を、インターネット放送局で配信しています。ぜひご覧ください。

白石市の紹介

人口 37,553人
(平成23年3月末現在)

白石市は、宮城県の南部に位置し、蔵王連峰と阿武隈山系に囲まれた、雄大な自然と清らかな水に恵まれた城下町です。緑豊かな渓谷付近には多数の温泉地があり、四季折々の自然を満喫しながら温泉を楽しめます。頭が大きく、頭の上のろくろ模様が特徴の「弥治郎こけし」や、油を一切使わずに小麦粉と塩水だけで作る「温麺(うーめん)」などが名産品です。



各市長からのコメント



海老名市 内野 優市長

トライアングル宣言により、3市の絆がより深まりました。これから東日本は復興への道を歩んでいきます。白石・登別への市民ツアー実施などを通じて、交流を図りながら海老名の元気を届けていきたいと考えています。



白石市 風間康静市長

東日本大震災の発生以降、あたたかいご支援、ご援助をいただきありがとうございます。白石市民を代表してお礼申し上げます。この調印を契機に、3市がそれぞれの地域を光らせるために切磋琢磨していきたいと思えます。必ず復興しますので、皆さんもぜひ白石に遊びに来てください。